

# 観光、ビジネス用途だけじゃない レンタカーの可能性



## POINT

積載車導入で、  
地域の需要に  
対応していきます



### 株式会社 男鹿レンタリース

代表取締役  
長澤 和也 Nagasawa Kazuya

〒010-0511  
男鹿市船川港船川字泉台67-20  
TEL.0185-27-8333  
<https://car-rental-agency-4531.business.site/>

## レンタカー店のなかった男鹿への参入

「株式会社 男鹿レンタリース」は、秋田市で新車中古車販売、自動車整備業を行う長澤和也氏による新事業だ。令和3年4月、JR男鹿駅から徒歩2分ほどの場所にレンタカー店をオープン。男鹿市内は、数年前まであったレンタカー店が撤退して以降、1軒もない状態が続いていたという。

県内屈指の観光地である男鹿で、地域外の人々の移動手段として活用されるのはもちろんのこと、レンタカーには、それだけにとどまらない需要があるという。

「代車として活用できるんです。例えば、事故現場で車がレッカーされた後、レンタカーがあればドライバーはスムーズに帰ることができますよね」と、長澤氏。事故時に身近にサポートしてもらえる場があるのは安心だ。

## 地域課題に寄りそうレンタカーへ

同社では、センターの設備貸与事業を活用して積載車を導入し「レッカー&レンタカー」というキャッチフレーズ

での業務展開を進めている。

自社で積載車を所持することで、急な事故現場や観光スポットまで直接車を届けることが可能となると同時に、積載車があれば代車の移動を1名で行うことができるため、人件費を抑えることにも有効だ。

さらに長澤氏は、同地域の抱える課題にもレンタカーが活かせるのではないかと考えている。過疎地域では買い物、通学などに車の利用は必須。そこで、町内や自治体へ定期的にレンタカーを貸し出すことを構想しているのだ。

「高齢で車を手放す方も増えてきていますが、運転ができなくなると地域コミュニティにも加わりづらくなってしまいます。地域単位で車を活用することが健康寿命を延ばすことにもつながると思っています」と長澤氏。

「1台の車がここに必要」という状況が数多あるが、それに応えるためには地域との連携が必要となる。まずは地域に認められるよう実績を作っていくと意気込んでいる。



店舗は男鹿市役所向かい、駅から徒歩2分とアクセス良好。



人気は、最高級ミニバンやオープンカー。アクティビティに合わせて選べる。



レンタカーはもちろん、BBQセットや遊び道具、マイカーリースの相談もできる。

▶活用事例 設備投資支援 設備の導入により、経営基盤の強化を目指す企業に対し、必要とする設備を割賦販売またはリースします。  
[お問い合わせ] 設備・研究推進課 TEL.018-860-5702